

餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺

〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187

納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187

恵亮院 TEL/FAX 086-942-3788

本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823

吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789

定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490

明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069

圓乗院 TEL 086-942-2356

ホームページアドレス <http://www.yokeiji.com/>

積善

題字 第241世天台座主 玄深師(恵亮院藏)

ひとくち法話

『見える人と見えない人』

「どうやら、境内に怪物がいるらしい。それも小さな怪物、すなわち「ポケットモンスター」略して「ポケモン」だ。私には気配すらも感じられないのだが、スマホという探知器を持つてる人たちが、せわしなく動き回っている。私には見えないものが、彼らには見えている。私が「いない」と言い張っても、彼らは「そこにはつきりというではないか」と主張する。どちらが真実なのか？ はたまた、どちらも真実ではないのか？」

「世間虚仮」。この世は仮想空間である。日常の暮らしは夢の中。お互いがそれぞれのバーチャル世界で重なり合っている。「唯仏是真」。仏が真実を解く鍵となる。つながり合うご縁の世界。仏とは何か。お互いを認め合う心。思いやる心。慈愛の眼差し。さしのべる手と手。佛像、特に観音菩薩像にあらわされる慈悲のすがた。そこに仏が見えている。お寺で仏像を、その目と心に留めれば、あなたと私、ともに仏の世界が見えてくる。

「世間虚仮 唯仏是真」。どうやら、ポケモンから聖徳太子のご聖語にたどりついた。果たして、ポケモンも観音様の化身なのだろうか？
ところで、わずか一年ほど前には確か「お坊さん、お寺で妖怪がウオッチできますか」とよく聞かれたものだったが…。

日常の仏教用語集

「講堂」

現在「講堂」と聞くと学校などにある物や思い出す方が多いと思いますが、元々はお寺の建物です。よくお寺の建物で七堂伽藍という物を耳にしますが、この中の一つが「講堂」です。

説法をするところ、仏法の講義をするところになります。

「往生」

「今回は往生したよ」「あの人は往生際が悪い」などあまり良くない意味で使われますが、仏教では現世を去って極楽浄土に往生生まれかわることを往生と言います。そのため、本来はありがたい言葉なのです。



餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日 (於 薬師堂)

毎月8日 午前10時～

護摩供養をしています。

ご祈祷のお申し込みは随時納経所へお願いします。

観音縁日 (於 本堂)

毎月18日 午前8時～

みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、

お気軽にお参りください。



薬師護摩祈禱

護摩木三百円

木札授与三千元／五千元

期間限定の「さくらカフェ」はお菓子とお飲み物のセットで四百円です。

春のお彼岸法要と桜まつり

三月二十日（月・祝日）の十時より春のお彼岸法要が餘慶寺本堂において行われます。

お彼岸は真西に太陽が沈むことから、極楽浄土に思いをはせる日、ご先祖様の供養をする日として、古来より大切にされてきました。併せてこの日は、現代に生きる私たちにとって、生命あるものへの感謝の気持ちを感じ、起こし、いかされる有り難さを実感させる、報恩謝徳（恩に報い徳に感謝する）の日として、大切な日でもあります。お墓参り・納骨堂参りと併せて餘慶寺へもお参りください。なお、お彼岸法要をご希望される方は別紙「お彼岸法要のご案内」をご覧になり上寺山各院または餘慶寺会館納経所へ三月十三日（月）までにお申込みください。



そして四月に入りますと、一日より八日にかけて「桜まつり」を開催いたします。期間中、薬師堂では秘仏薬師如来（国指定重要文化財）、聖観世音菩薩（国指定重要文化財）、十一面観世音菩薩（県指定重要文化財）などの特別公開や護摩祈祷、境内では寺庭婦人による「さくらカフェ」（各四百円）を行い、また本堂では花御堂の釈迦誕生仏へ甘茶を淹いでいただけるようご用意しています。特に四月八日はお釈迦さまのお誕生日です。餘慶寺では毎年、この日に降誕会の法要をし、甘茶の無料おせつたいをしております。

春の上寺山へ、是非ともおまいりください。



第十七回上寺山両詣りライトアップの報告

昨年大晦日から一月二日にかけて餘慶寺と豊原北島神社で「両詣り」と名付けて様々な行事が行われました。今年のお正月はとても暖かくなつたこともあり、例年に増してお詣りに来られる方が多く盛況であつたように感じました。今回は特に薬師堂における護摩祈禱を受けられる方が大勢おられました。ご祈禱中、真剣に護摩の火を見つめられる方、目を閉じて瞑想されている方、一緒にご真言を唱えられている方：それぞれがそれぞれの姿で薬師如来様に願いを捧げておられました。ご祈禱が終わった後、護摩の火の温もりを身体に感じると皆様とても良い顔をされており、大変お陰を受けられたことと思います。

また、ライトアップでは、よりお詣りしやすいように前回よりも照明設備を増設し、本堂をはじめとする諸堂や参道を照らし出しました。

最後になりましたが、両詣りを開催するにあたりご尽力いただきました皆さまに心よりお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



春を見つげに上寺へお参りしましょう。

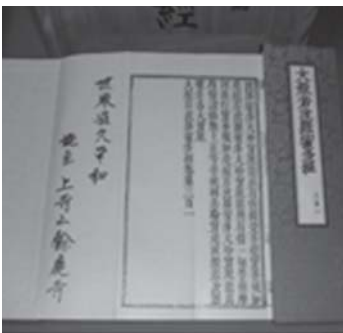
特別寄進のおすすめ 大般若経と天井絵

餘慶寺本堂には、「大般若経」六百巻が納められております。そしてその一巻ずつにお施主を募り、一口一万円のご寄進をお受けしております。

また八角堂には、「天井絵」として永遠に枯れない花々がお供えされています。お堂の天井を見上げると桜・梅・蓮・睡蓮・紫陽花・椿・蘭・山吹などの美しい花の絵が、極彩色ゆたかに鏤められています。この天井絵に一口十五万円でお施主を募り、六十一口をご用意しておりましたが、残りわずかとなりました。

ご先祖様や、今は亡き大切な方へのご供養のため、ご自身の心願成就や家内安全のため等にご志納いただきますと、「大般若経」では経巻の裏表紙に、「天井絵」ではお花の描かれた杉板に、餘慶寺住職がお施主名とお願いごとの墨書をさせていただきます。どうぞ皆様のご芳志をお寄せください。

なお、寄せられました浄財は、諸堂修理などの境内整備のために活用させていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。



毎月第二日曜日午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。

餘慶寺境内紹介

『上寺の梵鐘』

「海こしのひびきやいづこ夕風の

たよりに伝ふ入相の鐘」

往古より「備前八景 上寺の梵鐘」として数々の短歌などに詠まれて人々に親しまれています。

梵鐘の直径は二尺、全高三尺一寸、青銅製にて銘文には

「大日本国豊後国 大分郡府中今小路 惣道場」

「右願主大明 台州府蘆高 平羊県陽愛有」

元龜二年七月十三日

の文字が読み取れます。

安政二年備前国内寺院の梵鐘を使い大砲を鑄造した時、この銘文により明人寄進の名鐘にて難を免れたそうです。

現在でも日没にあわせて毎日梵鐘を打ち鳴らしています。

夕暮れ時に耳を澄ませてください。上寺の梵鐘の鐘の音が、響いています。



よけいじ寺子屋だより

会場 餘慶寺会館（十四時〜）

寺子屋写真館



今後の予定

☆『仏教のイメージ法(その二)』

講師 惠亮院住職

三月四日(土)

☆『閑谷学校と論語』

講師 岡山県青少年教育センター閑谷学校所長

三月十二日(日)

☆『お経に親しむ(四)』

講師 惠亮院名譽住職

四月十六日(日)

☆『北大路魯山人の料理』

講師 瀬戸内市立美術館学芸員 関 洋平先生

四月二十二日(土)

☆『仏像の見方』

講師 定光院・円乗院住職

五月十四日(日)

☆『日本刀製作に使われる材料について』五月二十七日(日)

講師 備前長船刀剣博物館装剣金工師 木下宗風先生

※どなたでも聴講可能です。(無料)
お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

編集後記

暖冬と思われましたが、今年に入り厳しい寒さとなりました。個人的に寒いのは苦手なため、早く暖かくなつてほしいと思います。ウインタースポーツを楽しむため、温かいお鍋を食べたり、たりと寒い冬ならではの良いことありますね。まだまだ寒い日が続きますが、冬を楽しむと思います。